

## 学習支援

(毎週土曜日開催 令和2年7月から令和3年2月末時点で33回実施)



### (1) 毎週土曜日午前10時から12時まで実施

今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、学校が休校になった期間は実施せず、6月から学習支援を開始しました。

### (2) 7名の児童生徒

令和3年1月現在、7名の児童生徒が参加しています。内訳は、小学生5名、中学生1名、高校生1名です。

### (3) 8名のボランティア

令和2年6月から令和3年1月までの期間に、学習支援に関わってくださったボランティアの方は、8名です。

内訳は、元教員3名、現職の教員1名、短大生2名、高校生2名です。これ以外にも多くの方がボランティアとして登録していますが、児童生徒の数や「家」の広さなどの理由によってご協力いただいていないのが現状です。ボランティアの方々には、子どもとのあたたかい関係づくりを意識した関わりをお願いしています。

### (4) 学習内容

子どもたちが、家庭から持ってきた宿題や問題集を、ボランティアと一緒に解いています。

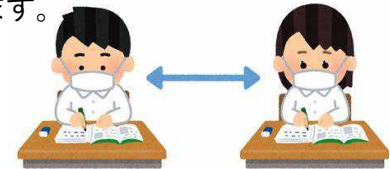
### (5) コロナ対策

子どもたちの保護者に当日朝の検温とマスクの着用をお願いしています。

子どものとなり佐野の「家」では、入り口で手指の消毒をしています。

また、始まる前に、使用するテーブルやトイレ、手で触れる箇所の消毒をしています。

密を避けるために、ひとテーブルに一人の子どもとボランティアが座るようにしています。



(担当: 荒井)

## 弁当お届け事業開始しました！

(毎週月曜日開催 令和2年7月から2月末時点で25回実施 配達弁当数延べ308個、66家庭)

コロナ禍で、通常活動である子どもの居場所や子ども食堂の実施が難しくなった2020年の3月から、団体として何をどう継続していくのか悩みました。4月からは食材のお届けという形で、それまで寄付いただいていたレトルト食品や調味料、お米などをお届けしはじめたところから、この事業にたどり着きました。ご家庭との関係性を保ちつつ、今まで関わりのあったご家庭に、今後どのような形で支援をお届けできるのか？ 試行錯誤の中から生まれた「弁当お届け事業」です。

毎回2、3名の食事ボランティアさんが集まり、庭の畑でとれた新鮮野菜や、寄付いただいたものをうまく活用し、おいしいご飯を作ってくれます。「既製品ではない手作りのお弁当だからこそ、お届けする意味があるのだ！」と、毎回工夫を凝らしたメニュー作りで、頭が下がります。季節行事に合わせたメニューや、彩りよいお弁当は、見ているだけでワクワクします。お弁当を通して、ボランティアさんのそんな心意気もお届けしたいと、弁当を渡すときの説明につい力が入ります。

コロナ禍で今、一人一人の生き方が問われています。何を大事にするのか？「誰一人取り残さない」社会を、どう作っていくのか？ 私たちの団体も、活動の在り方をある意味問われてると感じています。

コロナ禍であっても、歩みを止めずに実施し続けているこの事業を、大事に育てていきたいと思っています。今後とも、食材支援、ボランティア、皆様のご協力をよろしく願いいたします。

この事業は、「とちぎ子ども食堂応援助成」を受け実施しています。(担当: 熊倉)

